

## 【NEWS RELEASE】

2020年1月29日

SMBC日興証券株式会社

東北電力株式会社のグリーンボンド発行にかかる支援業務について

SMBC日興証券株式会社は、この度、東北電力株式会社(取締役社長:原田 宏哉、本店所在地:仙台市青葉区、以下「東北電力」)が旧一般電気事業者として初めての発行を予定しているグリーンボンドにおける単独主幹事及びグリーンボンド・ストラクチャリング・エージェント<sup>\*1</sup>を務めることになりましたのでお知らせいたします。

東北電力は、風力発電を主軸とした再生可能エネルギーについて、東北 6 県及び新潟県を中心に 200 万 kW の開発を目指しており、本グリーンボンドで調達する資金は、主にこの事業に充当する予定です。本グリーンボンドの発行にあたっては、グリーンボンド原則等の各種基準等への適合性についての第三者評価機関による評価又は検証を受けており、CBI(Climate Bonds Initiative:グリーンボンドの信頼性や透明性を確保するための厳格な基準を定める国際 NGO)からの認証<sup>\*2</sup>も、旧一般電気事業者として初めて取得しています。

当社では、金融・資本市場におけるビジネスを通じた環境・社会課題の解決のため、専門部署である「SDGs ファイナンス室」を設置し、ESG の推進に積極的に取り組んでおります。この度の引受けは、当社におけるグリーンボンド及び SDGs ファイナンスに係る知見を示すと同時に、ESG 投資、ESG をテーマとした商品の更なる拡大に繋がるものと考えております。また、本グリーンボンドの引受けを通じて、当社は SDGs の掲げる「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」及び「気候変動に具体的な対策を」の目標達成に貢献していきます。



※1 グリーンボンドのフレームワークの策定及び第三者評価取得のための助言等を通じて、グリーンボンドの発行支援を行う者

※2 第三者評価機関により気候ボンド基準への適合性の検証を受けた債券に対しCBIにより付与される認証。なお、気候ボンド基準とは、グリーンボンドについて、パリ協定における2℃目標と一致していることを、厳格な科学的根拠に基づいて策定した国際的な基準。

いっしょに、明日のこと。  
Share the Future



SMBC日興証券

**【今回発行される東北電力株式会社第 517 回社債(一般担保付)(グリーンボンド)の概要】**

名称	東北電力株式会社第 517 回社債(一般担保付)(グリーンボンド) (別称:東北電力グリーンボンド)
発行年限	10 年(予定)
発行額	50 億円(予定)
発行時期	2020 年 2 月(予定)
主幹事	SMBC日興証券株式会社
グリーンボンド・ ストラクチャリング・ エージェント	SMBC日興証券株式会社
第三者評価及び検証	<p><b>【評価及び検証】</b></p> <p>DNV GL ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社 (以下、DNV GL) において下記基準等への適合性について評価又は検証を取得</p> <p>グリーンボンド原則 2018(ICMA)</p> <p>グリーンボンドガイドライン 2017 年版(環境省)</p> <p>気候ボンド基準 2.1 版(Climate Bonds Standard Version 2.1)</p> <p>風力発電適格クライテリア 1.1 版</p> <p>海洋エネルギー適格クライテリア</p> <p>地熱発電適格クライテリア 1.0 版</p> <p><b>【認証】</b></p> <p>DNV GL からの上記気候ボンド基準 2.1 版に対する検証をもって、厳格な基準を設ける CBI 認証(気候ボンド認証)を取得</p>

以 上